

2022年度PMからのメッセージ

氏名・所属: 稲見 昌彦(東京大学 先端科学技術研究センター 教授)



略歴:

平成11年 東京大学 大学院工学系研究科 博士課程修了、博士(工学)
 東京大学 国際・産学共同研究センター リサーチ・アソシエイト

平成13年 東京大学 大学院情報理工学系研究科 助手

平成15年 電気通信大学 電気通信学部 講師

平成17年 電気通信大学 電気通信学部 助教授
 マサチューセッツ工科大学 コンピュータ科学・人工知能研究所 客員科学者(兼任)

平成18年 電気通信大学 電気通信学部 教授

平成20年 慶應義塾大学 大学院メディアデザイン研究科 教授

平成26年 超人スポーツ協会 共同代表(兼任)

平成27年 東京大学 大学院情報理工学系研究科 教授
 慶應義塾大学 大学院メディアデザイン研究科 客員教授(兼任)

平成28年 東京大学 先端科学技術研究センター 身体情報学分野 教授

平成29年 科学技術振興機構 ERATO 稲見自在化身プロジェクト 研究総括(兼任)

平成30年 IPA未踏IT人材発掘・育成事業 PM(兼任)
 東京大学バーチャルリアリティ教育研究センター 応用展開部門長(兼任)

令和 2年 東京大学 総長補佐(兼任)
 日本学術会議 連携会員(兼任)

専門分野:

人間拡張工学
 バーチャルリアリティ
 拡張現実感
 ウェアラブル技術
 エンタテインメント工学
 ロボット工学

メッセージ:

コロナ禍により、一気に情報化が進みつつあります。しかしその多くは、既存のシステムを情報世界に再構成したデジタル化に過ぎず、情報世界・物理世界双方の価値を真に生かしたサービスが待ち望まれています。未踏事業は、皆さんが将来活躍するであろう、情報世界と物理世界が高度に融合した未来の社会を皆さん自身が展望し、そこで新たなサービスを作るための経験を積む場と捉えています。

とはいえ、世界が直面する社会の難問にチャレンジすることも大切ですが、まずは身近な疑問、課題、目標を複数設定し、それらを一気に解いてみせること、すでに知られている手法であっても、全く違った分野に適用して鮮やかに解決することも重要なプロジェクトです。

まずは「自分と特定の誰かが楽しくなる」「作りたくて居ても立ってもいられない」ようなユーザとクリエイタの顔の見える提案を期待します。

また、食、スポーツ、温泉、農林水産業、癒しやここに例示されていないコンピュータにとって未踏な領域へのチャレンジも歓迎します。

採択後、その提案を世界と未来につなぐための作戦を共に考えましょう。

審査基準(下記基準のうち2つ以上含むこと):

1. 自分と特定の誰かが楽しくなるような提案
2. 居ても立ってもいられないほど実現したい提案
3. 原理検証用の簡単なプロトタイプを試作している方
4. 情報技術の適用領域が広がるような提案
5. PMと議論の上、いつか世界と未来に繋がることを目指したい方